

59. 借入金償還計画等一覧表

当該補助対象案件とは別案件の借入れについても「既借入分」として作成すること。

返済回数		返済年度	元金	利息	合計	家賃収入	償還補助	合計
1	令和10年度	0	7,600	0	7,600	0	4,712	7,600
2	令和11年度	160	7,417	0	7,577	0	4,689	7,577
3	令和12年度	80	7,017	0	40,897	8,925	29,236	40,897
4	令和13年度	0	6,617	0	40,497	8,925	28,988	40,497
5	令和14年度	0	6,217	0	40,097	8,925	28,740	40,097
6	令和15年度	0	3,817	0	39,697	8,925	28,280	39,697
7	令和16年度	0	3,417	0	39,297	8,925	27,128	39,297
8	令和17年度	0	3,017	0	38,897	8,925	1,976	38,897
9	令和18年度	0	2,617	0	38,497	8,925	1,824	38,497
10	令和19年度	0	2,217	0	38,097	8,925	1,672	38,097
11	令和20年度	33,880	3,817	37,697	8,925	8,925	1,520	37,697
12	令和21年度	33,880	3,417	37,297	8,925	8,925	1,368	37,297
13	令和22年度	33,880	3,017	36,897	8,925	8,925	1,216	36,897
14	令和23年度	33,880	2,617	36,497	8,925	8,925	1,064	36,497
15	令和24年度	33,880	2,217	36,097	8,925	8,925	912	36,097
16	令和25年度	33,880	1,817	35,697	8,925	8,925	760	35,697
17	令和26年度	33,880	1,417	35,297	8,925	8,925	608	35,297
18	令和27年度	33,880	1,017	34,897	8,925	8,925	456	34,897
19	令和28年度	33,880	617	34,497	8,925	8,925	304	34,497
20	令和29年度	33,880	217	34,097	8,925	8,925	152	34,097
合計			610,000	80,123	690,123	160,650	497,705	690,123

該当する欄に○印をつけること

オーナー名：(株)○○○
施設名：東都ホーム

借入先：(A銀行) (B銀行) 合計

返済年度：令和10年度 令和11年度 令和12年度 令和13年度 令和14年度 令和15年度 令和16年度 令和17年度 令和18年度 令和19年度 令和20年度 令和21年度 令和22年度 令和23年度 令和24年度 令和25年度 令和26年度 令和27年度 令和28年度 令和29年度

返済回数：1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20

元金 利息 合計 家賃収入 償還補助 合計

利率： %
財源名を記載すること

特養・シヨート、デイで融資を受ける (A/B銀行、施設整備・用地費ともに融資あり) 場合、以下の種別ごとに作成すること。

①新規、A銀行、施設整備、特養・シヨート
②新規、B銀行、施設整備、特養・シヨート
③新規、A銀行、用地費、特養・シヨート
④新規、B銀行、用地費、特養・シヨート
⑤新規、A銀行、合計、特養・シヨート
⑥新規、B銀行、合計、特養・シヨート
⑦新規、合計、合計、特養・シヨート
同様にデイについて、①～⑦を作成
同様に全事業計について①～⑦を作成
(この場合、21枚作成する)
※該当がないページは提出省略可

「新規借入分」を選択した場合
①「借入先」別、「整備区分」別、「施設種別」別に作成すること
②最後に「新規借入分」の合計を作成すること

「元金」、「利息」、「利子補給」を「31 資金収支見込計算書(総括表)」に転記する。

償還終了年度まで
円単位で金額を入力すること。(千円単位に切り替わります)

「新規借入分」と「既借入分」がある場合は、最後に総合計を作成すること。

借入金償還計画等一覽表

区分	返済回数	返済年度	元金	利息	合計	利子補給	償還財源内訳		利率	合計
							家賃収入	〇〇収入		
新規借入分										
既借入分										
合計										
1		令和8年度	74,690	7,975	82,665	7,095	75,570	0		82,665
2		令和9年度	68,530	447	74,977	6,260	68,717	0		74,977
3		令和10年度	48,770		54,195	5,425	48,770	0		54,195
4		令和11年度	48,770	4,591	53,361	4,591	48,770	0		53,361
5		令和12年度	48,770		48,770	4,591	48,770	0		52,526
6		令和13年度	48,770		48,770	4,591	48,770	0		51,691
7		令和14年度	48,770		48,770	4,591	48,770	0		50,857
8		令和15年度	48,770		48,770	4,591	48,770	0		50,023
9		令和16年度	48,770		48,770	4,591	48,770	0		49,189
10		令和17年度	2,400		2,400	0	2,400	0		2,400
11		令和18年度	2,400		2,400	0	2,400	0		2,400
12		令和19年度	2,400		2,400	0	2,400	0		2,400
13		令和20年度	2,400		2,400	0	2,400	0		2,400
14		令和21年度	2,400		2,400	0	2,400	0		2,400
15		令和22年度	2,400		2,400	0	2,400	0		2,400
合計			499,010	34,871	533,881	33,804	500,077	0		533,881

該当する欄に〇印をつけること

オーナー名：(株)〇〇〇 施設名：施設A

借入先：(A銀行) (B銀行) 合計

設備区分：施設整備 用地費 合計

償還財源内訳

利率：%

立：千円

既借入分は施設毎に全事業計のみ作成すること。

既借入分の整備区分は会計のみ作成すること。

財源名を記載すること

「既借入分」を選択した場合、
 ①「24事業費・資金調達内訳等一覽表」の「他の整備計画」に記載した同時並行整備案件について「借入先」別に作成すること(機構・協調融資の2枚)
 ②「既借入分」(同時整備案件①を含む)の合計を作成すること
 ③「新規借入分」がある場合、新規借入分と既借入分を合計した総合計を1枚作成すること。

既借入分が施設AからCの複数ある場合、借入先ごとに作成すること。
 ①既存、A銀行、合計、全事業計(施設A)
 ②既存、B銀行、合計、全事業計(施設A)
 ③既存、A銀行、合計、全事業計(施設B)
 ④既存、B銀行、合計、全事業計(施設B)
 ⑤既存、A銀行、合計、全事業計(施設C)
 ⑥既存、B銀行、合計、全事業計(施設C)
 ⑦既存、A銀行、合計、全事業計(合計)
 ⑧既存、B銀行、合計、全事業計(合計)
 ⑨合計、合計、合計、全事業計(総合計)
 ※該当がないページは提出省略可

償還終了年度まで

円単位で金額を入力すること。(千円単位に切り替わります)

60. 融資先からの融資（見込）証明書（写）

融資証明書には必ず、①融資金額、②償還期間、③借入利率等を明記した融資（見込）証明書の写しを提出すること。ただし、借入利率が記載できない場合、都が定める借入利率（5年目まで2.5%、6年目以降3.5%）で償還計画を作成すること。